

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人みちのく福祉会 こども発達支援センターりりい		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 9日		令和 8年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 19日		令和 8年 1月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「児童発達支援」から継続して利用されている児童が多いため、成長と変化を感じながら長期的に関わることができる。	児童の特性(強み・弱み)を把握しているので関わり方活動内容などの選択ができる。	保護者、学校との連携をより深めていきます。
2	様々な機関(事業所、支援者など)と関係性を保ち協調した活動や取り組みを進めている。	社会体験(就業訓練)として児童が就労支援事業所へ出向き軽作業や生活訓練を体験する機会を設けている。	今後もライフステージに沿った活動・体験・学びを提供していきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	様々な活動や取り組みを進めているが、保護者の方々に周知されていない印象があるようです。	連絡帳での児童の様子確認や情報交換の場を設けていますが不足しているのかと感じます。	保護者懇談会(研修会)や活動見学・情報交換の場をより多く設けていき必要に応じてタイムリーに対応する体制を整えていきたいと思います。
2	安全対策などに関するマニュアルは作成しており訓練は実施していますが把握されていない印象があるようです。	マニュアルは作成し事業所に掲示していますが実際に目にするのが少ないのかと感じます。	保護者の方々に資料を配付したり、ホームページに掲載して理解していただくようにしたいと思います。
3			